

2026 謹賀新年

新春対談 その一歩が、10年後を創る



女子プロサッカーチーム 日テレ・東京ヴェルディベレーザ

©TOKYO VERDY

あけましておめでとうございます

区民の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、板橋区においては、昨年10月に、令和8年度からの概ね10年後の望ましいまちの姿を示す、「板橋区基本構想」が議決され、新たにめざすべき将来像を、「未来をひらく緑と文化のかがやくまち"板橋"」と掲げました。

この基本構想は、区政の長期的指針となるもので、区はもとより、区に住み・働き・訪れるすべての人々や、区に関係するあらゆる主体が、ともに未来を展望し、共有するものです。将来像には、これまで育んできた土台をもとに、様々な団体・地域・区民の皆様と協力し合いながら、新しいページを「開く」ように可能性を広げ、自ら未来を「切り拓いていく」という決意が込められています。

また、「ひと・まち・みらい」の視点から、3つの基本理念を定めるとともに、「将来像につながる9つのめざす姿」を掲げております。基本構想の実現に向け、基本政策や施策をまとめた「次期板橋区基本計画」並びに、基本計画を推進する短期的なアクション

プログラムである「次期いたばしNo.1実現プラン」の策定に取り組んでいます。

区を取り巻く社会経済環境や区民の生活様式は、コロナ禍の経験や急速な少子高齢化の進行、気候変動による風水害の激甚化など著しく変化しています。このような先行き不透明で予測困難な時代に、新たな未来を切り拓くためには、地域や関係機関の皆様との連携強化により、新たな価値や魅力をとともに創り上げていく「共創」が不可欠であると考えています。

令和8年は、これまでの取組をさらに発展させるべく、絵本文化をはじめとした地域資源や区民一人ひとりの創造的な活動がかがやき、多様な文化や芸術の交流がはぐくまれることによって、新たな価値・魅力が創り出されるまちをめざしてまいります。

これからも、「あたたかい人づくり、やさしい区政」を信条に、「ひと」と「まち」「みらい」の視点をもって、「板橋区の未来」を考え、持続可能な区政を着実に進めてまいります。

本年も引き続き、区政に対するご理解とご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。



板橋区 長

坂本 健